

を語らせる。一方、ロンバルディア同盟軍は勇ましくこれに対して応えるので長調で描かれている。

サントンブロージオ聖堂（教会）

ミラノは、誕生しつつあったキリスト教にとって非常に重要な都市であった。313年コンスタティヌス1世によってキリスト教を公認する有名な「ミラノ勅令」を発した。その後、キリスト教は幾多の難関を切り抜け、374年からアンブロシウス司教の時代が始まり、サントンブロージオ聖堂が建設された。今も残る建物として、ミラノの人たちの崇敬の場所となり、ミラノ守護聖人となった。

「ミラノ・スカラ座」

ミラノの守護聖人アンブロシウスは、司教に叙階された日が374年12月7日であり、この日がミラノの人達にとって非常に重要な祝日となった。それにあやかりミラノ・スカラ座は、毎年この祝日を新シーズンの開幕日としているのである。

2025/03/22 錦職昭彦